

## 天無人・置無直、千無点

JJ1SXA/池

天無人・置無直、千無点、何だこりゃ～です。

お坊さんの使う隠語だそうです、天無人→天の字から人を取ると二、置無直→置の字から直を取ると四、千無点→千の字から点を取ると十ということで、無理矢理読ませると、二・四十→240でした。

- 一 大無人(だいむじん)
- 二 天無人(てんむじん)
- 三 王無中(おうむちゅう) 別の言い方→王無棒(おうむぼう)
- 四 置無直(ちむちよく) 別の言い方→罪無非(ざいむひ)
- 五 吾無口(ごむこう)
- 六 交無人(こうむじん) 別の言い方→立無一(りつむいち)
- 七 切無刀(せつむとう)
- 八 分無刀(ぶんむとう)
- 九 丸無点(がんむてん) 別の言い方→鳩無鳥(きゅうむちょう)
- 十 千無点(せんむてん) 別の言い方→(針無金(しんむきん))

それぞれ、冒頭の例のように考えれば納得できるでしょう、考えてみてください、あえて解説は書きません。

僧侶同士の、「今日のお布施はいかがでござった」、「ごむこうでござる」(五万円でした)との会話は、周りの者には解かりません、それにしても、色々の職業ごとに、隠語、符丁があるようです。

洒落からきた隠語で有名なのは、妻(奥さん)の事を「山の神」と言うのは、「いろはにほへと…うゐのおくやまけふこえて…」で「いろは」を縦書きすれば、「奥」は「山」の上(かみ)にあるからとのこと、全く知らずに使っていました、語源辞典や隠語辞典を眺めると中々面白い、駄洒落でこんなのがあります、何とも可笑しい。

- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| うさぎのとんぼ返り | 耳がいたい(他人の言が自分の弱点を突いている) |
| かみそりのふんどし | 尻切っている(よく知り抜いている)       |
| こたつの前     | 当たり前                    |
| 冬の蛙       | 寒蛙(考える)                 |
| 利根川にする    | この銚子で終わる(酒を終わりにする)      |
| 女房の気狂い    | つまらない(妻乱…つまらん)          |
| 焼き豆腐      | たとえ火の中水の中               |
| 幽霊の死体     | 死骸がない(仕事のし甲斐がない)        |
| 猿の小便      | 木にかかる(気にかかる)            |
- 如何です、少しは楽しめたでしょうか。